



YAMAN

YA-MAN REPORT

ヤーマン株式会社 2020年4月期 報告書

2019.5.1 — 2020.4.30

【証券コード: 6630】

トップメッセージ Top Message



平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、またそのご家族や関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当社では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、ステークホルダーの皆様の安全確保・感染予防と感染拡大の防止・事業継続に向けた対応を進めております。一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、ここに2020年4月期（2019年5月1日から2020年4月30日まで）のYA-MAN REPORTをお届けし、当期の経営成績などについてご報告いたします。

代表取締役社長 山崎 貴三代

当期の事業環境と業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、経済環境が急激に悪化しました。経済活動の停滞による世界的な景気減速が懸念されるなど、先行きの不透明感はますます強まっています。

このような状況の下、当社グループでは、新製品の研究開発、ブランド確立のための広告宣伝、社内体制の整備といった先行投資に注力しつつ、足元の売上の落ち込みを補うべく、各販路の伸長を図ってまいりました。

国内需要は底堅く推移しましたが、インバウンド需要の低迷を補うまでには至らなかったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による実店舗休業の影響が大きく、当連結会計年度の売上高は22,975百万円（前連結会計年度比15.7%減）、営業利益は2,504百万円（前連結会計年度比56.1%減）、経常利益は2,310百万円（前連結会計年度比59.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,322百万円（前連結会計年度比62.6%減）となりました。

連結財務ハイライト

Financial Highlights

■ 2020年4月期	（単位：百万円）	前期比
売 上 高	22,975	15.7%減
営 業 利 益	2,504	56.1%減
経 常 利 益	2,310	59.6%減
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,322	62.6%減

次期の見通しについて

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗の休業や世界的な海外への渡航制限などが当社グループの足元の業績に影響を与えており、特に店販部門は国内免税店を中心に大きな打撃を受けました。

少なくとも次期の第2四半期までは相当の影響があり、その後徐々に需要は戻ってくると想定しておりますが、経済活動の制限が解消される時期によっては、業績の落ち込みが

長引くことが考えられます。

一方で、いわゆる巣ごもり消費は好調に推移しており、通販部門、直販部門は2020年2月から4月の当第4四半期連結会計期間においても売上を伸ばしました。

また、海外部門では、情勢不安が続く韓国・香港は年間を通して不調だったものの、中国では国内のオンライン販売が非常に好調で、当連結会計年度の売上は前連結会計年度を上回る結果となっております。

新型コロナウィルスの感染拡大が今後の当社グループの業績に与える影響は当面の間継続するものと考えられますが、引き続き広告宣伝と顧客サービスの充実に努めながら、それぞれの販路の最適化を図ってまいり所存です。

2021年4月期の連結業績予想につきましては、売上高26,000百万円（対前年度比13.2%増）、営業利益2,600百万円（営業利益率10.0%）（対前年度比3.9%増）、経常利益2,407百万円（対前年度比4.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,526百万円（対前年度比15.4%増）としております。

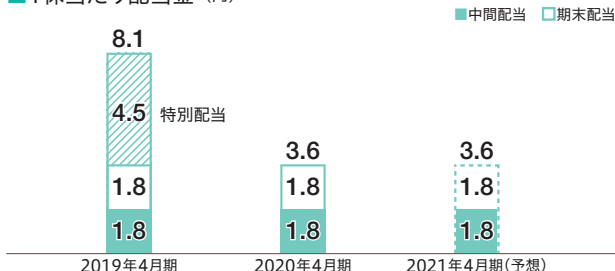
株主様への利益還元について

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。配当金につきましては、每期安定的、継続的な実施を原則とし、積極的な事業展開や内部留保による財務体質の強化を維持しつつ、期中の業績や配当性向を総合的に勘案して決定することとしております。

当期の期末配当につきましては、当初の予定どおり1株当たり1.8円とさせていただきます。

また、次期の配当予想につきましては、上記方針に基づき1株当たり年間3.6円（内、中間配当1.8円）としておりますが、利益の状況を鑑みながら最終的な金額を決定する予定です。

■ 1株当たり配当金（円）



株主優待の内容決定に関するお知らせ

2020年4月期株主優待の内容が下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

対象となる株主様	2020年4月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された100株以上保有の株主様
贈呈時期	2020年7月の定時株主総会後に順次、株主優待割引券をお送りいたします。 (7月29日発送予定の第46回定時株主総会決議ご通知に同封)
株主優待の内容	保有株式数及び保有期間に応じて、当社直販Webサイト(ヤーマンオンラインストア)でご利用いただける株主優待割引券を進呈いたします。

なお、カテゴリの区分及び内容につきましては、下表をご参照ください。

保有株式数	保有期間	
	2年未満	2年以上
100株以上 500株未満	5,000円の 株主優待割引券 (1枚)	10,000円の 株主優待割引券 (1枚)
500株以上	14,000円の 株主優待割引券 (1枚)	20,000円の 株主優待割引券 (1枚)

(注) 保有期間とは、該当株式数を取得したことが株主名簿に記載又は記録された日から基準日まで継続して保有した期間を言います。「2年以上」とは、2020年4月30日の基準日時点で、該当株式数の保有が毎年10月31日及び4月30日現在の株主名簿に同一株主番号で継続して5回以上記載又は記録されていることが条件となります。詳細は同封の書類をご確認ください。

ヤーマン オンラインストア 検索

<https://www.ya-man.com/>



報告セグメント別概況 Reportable Segment

売上高構成比

19.2%	29.7%	25.4%	21.4%	
通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	
主に雑誌やテレビを利用して 通信販売を行う事業者向け 卸売事業	主に家電量販店や バラエティショップ向け 販売事業	インフォーマーシャルや雑誌、 新聞、Web等の媒体利用による 個人向け直接販売事業	海外の通信販売業者、 卸売業者、個人顧客等への 販売事業	
●売上高 4,418 百万円 ●セグメント利益 1,678 百万円	●売上高 6,828 百万円 ●セグメント利益 2,045 百万円	●売上高 5,844 百万円 ●セグメント利益 2,131 百万円	●売上高 4,916 百万円 ●セグメント利益 1,631 百万円	

武田真治さんが筋肉隆々、美ボディかつ、精悍な表情のマスクマンに変身!?

「メディリフト」シリーズ新CM『美とテクノロジー』篇公開

2020年4月より、当社が展開するウェアラブルEMS美顔器「メディリフト」シリーズの新CMとして、俳優としてドラマ・映画はもちろん、バラエティ番組など幅広いシーンで活躍する武田真治さんを起用した新CM『美とテクノロジー』篇をオンエアしております。

※「メディリフト」シリーズは、1回、10分つけるだけ(※使用時間)の3DウェアラブルEMS美顔器です。

本CMの見どころ

- 武田さんが「子どもの頃に憧れた変身ヒーローのよう」と語る「メディリフト」を着用した武田さんの精悍な表情にご注目ください。
- 本篇スタートとともに見られる武田さんの筋肉隆々としたマッスルボディ。トレーニングに合わせて動くパンプアップされた筋肉と汗は見どころです。
- CM撮影のために、撮影所にトレーニング機材を持ち込み、トレーニングを実施。撮影直前まで鍛え抜かれた武田さんの究極の肉体美をご覧ください。



メディリフト



メディリフト アイ



CM

連結財務諸表 Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 2019年4月30日現在	当 期 2020年4月30日現在
資産の部		
流動資産	15,543	15,040
固定資産	2,416	2,252
有形固定資産	614	608
無形固定資産	1,388	1,189
投資その他の資産	413	454
資産合計	17,959	17,292
負債の部		
流動負債	4,601	3,823
固定負債	286	107
負債合計	4,887	3,931
純資産の部		
株主資本	13,076	13,373
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	12,144	13,014
自己株式	△2,314	△2,887
その他の包括利益累計額	△4	△11
為替換算調整勘定	△4	△11
純資産合計	13,072	13,361
負債純資産合計	17,959	17,292

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 自 2018年 5 月 1 日 至 2019年 4 月 30 日	当 期 自 2019年 5 月 1 日 至 2020年 4 月 30 日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,862	1,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,794	△1,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	△128
現金及び現金同等物の増減額	△2,035	△310
現金及び現金同等物の期首残高	9,523	7,488
現金及び現金同等物の期末残高	7,488	7,178

連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 自 2018年 5 月 1 日 至 2019年 4 月 30 日	当 期 自 2019年 5 月 1 日 至 2020年 4 月 30 日
売上高	27,252	22,975
売上原価	9,445	8,164
売上総利益	17,807	14,810
返品調整引当金戻入額	113	107
返品調整引当金繰入額	107	84
差引売上総利益	17,813	14,833
販売費及び一般管理費	12,108	12,329
営業利益	5,705	2,504
営業外収益	37	19
営業外費用	27	213
経常利益	5,715	2,310
特別利益	34	2
特別損失	50	6
税金等調整前当期純利益	5,698	2,306
法人税等	2,159	984
当期純利益	3,539	1,322
親会社株主に帰属する当期純利益	3,539	1,322
その他有価証券評価差額金	△10	－
為替換算調整勘定	0	△7
包括利益	3,529	1,315

新店舗情報

フェイス・リフト・ジム

顔専門トレーニングジム『FACE LIFT GYM』が東京・青山にオープン 表情筋トレーニングでお顔の印象をアップ



当社は、新業態となる顔専門トレーニングジム『FACE LIFT GYM』の第一号店を、2020年2月に東京・青山に新規出店いたしました。

近年、フィットネス市場の広がりとともに、ライフスタイルの中で「筋トレ」は当たり前になりつつあり、パーツ特化型ジムなど業態も多様化しています。今回オープンした『FACE LIFT GYM』では、美容機器の開発に長年携わってきた専門メーカーのヤーマンだからこそできる、美容機器を活用した顔専門のトレーニングジム、という新たなご提案をいたします。

『FACE LIFT GYM』では、「常に当社の最新機器が揃う充実した環境で、お客様の多種多様なニーズに応え、美容機器を使う場を提供する」という、美容機器とお客様との新たな関係性を構築します。また、製品を購入していただいたお客様へのフォローアップレッスンも行います。どのメニューもトレーナーが1on1でつき、初めて美容機器に触れる方でも実感のあるお手入れを行うことができ、ご自身で顔印象をアップさせる方法を覚えてご自宅での美容ケアにお役立ていただけます。

CONCEPT

美人をつくるのは自分自身。

『FACE LIFT GYM』は、先端技術に裏付けられた美容機器を送り出してきたヤーマンが提案する、顔専門トレーニングジム。

お悩みにあわせて、専門トレーナーが美容機器を使って「美人づくり」をお手伝いいたします。プロの手によって美しくしてもらうのではなく、美しさは自分自身で手に入れる。

トレーニングを通じて、「美人づくりのメソッド」を身につけていただくことができます。



こんな方におすすめ …

- ✓ ふと鏡に映った自分の顔の輪郭がぼんやりしている
- ✓ パーティー、ビジネスシーン、記念撮影など、大切な予定の前に印象をアップしたい
- ✓ 美容機器を試してみたい
- ✓ 美容機器を持っているけれど、使い方に不安がある、もっと自分にあった使い方を知りたい
- ✓ 美容機器を買っても家ではなかなかケアする時間がとれない

トピックス

2019年度のベストコスメ企画において『メディリフト アイ』が1位10冠を達成!

当社が2019年9月に発売した目もと用ウェアラブルEMS美顔器『メディリフト アイ』は、多くの美容賢者(美容ジャーナリスト、美容家、ヘアメイクアップアーティスト、美容ライター、編集者など)から高い評価をいただき、2019年度のファッション誌・女性誌などの恒例企画「ベストコスメアワード」において、1位10冠を達成し、『メディリフト』『メディリフト アクア』も含めたメディリフトシリーズとしては23の賞を受賞いたしました。



「&ROSY2019ベストコスメ美容ガジェット部門1位」



目もと用ウェアラブルEMS美顔器
『メディリフト アイ』

ぐっと、鮮烈な目もとへ。

目もとの美しさを引き上げる、「目ヂカラ筋TMケア」という発想。繊細な構造ゆえ"攻めのケア"が難しかった目もとに対し、筋肉刺激というアプローチを叶えた3DウェアラブルEMS美顔器。



『メディリフト アイ』評価の理由 美容賢者の方々から高い評価をいただいたのは以下の点です。



目ヂカラ筋TMへのアプローチという新しい発想

目もとの皮膚ではなく、目ヂカラ筋TMへのアプローチにより美しい目もとを目指す、という着眼点に対して「自分の手では行き届かないケア」「美容機器ならではの」という声が集まりました。

使うのが楽になる手ごたえと心地よさ

酷使しがちな目もとをヒーター機能で温め、目もと用のEMSで心地よい刺激を与えるため「使うのが楽になる」という満足の声が聞かれました。

忙しくても続けられるウェアラブル性能

お手入れ中も両手が空き「ながらケア」ができる点はメディリフトシリーズの大きな特長。忙しい現代人のライフスタイルにフィットするアイテムである点も評価をいただきました。

※ 目もとの印象を大きく左右する眼輪筋(がんりんきん)と側頭筋(そくとうきん)の総称を指した造語

会社概要・株式状況 Corporate Data / Stock Information

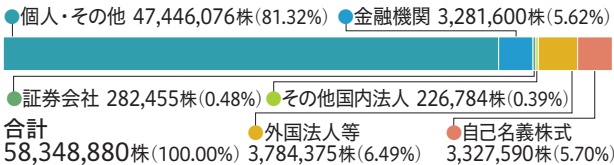
会社概要 (2020年4月30日現在)

商号 ヤーマン株式会社
設立 1978年(昭和53年)5月27日
資本金 1,813百万円
従業員 253名
事業内容 美容健康関連機器及び化粧品の研究開発・製造・販売、バラエティ雑貨等の仕入販売

株式の状況 (2020年4月30日現在)

発行可能株式総数 195,555,520株
発行済株式総数 58,348,880株
株主数 58,727名
単元株式数 100株

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山崎 行輝	7,146,100	12.98
山崎 貴三代	6,204,600	11.27
山崎 静子	5,954,400	10.82
山崎 光英	2,453,600	4.45
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,138,500	3.88
VictoriaYamazaki	2,080,000	3.78
山崎 知美	2,080,000	3.78
山崎 岩男	1,473,600	2.67
日本マスタートラスト信託銀行(株)(投信口)	797,700	1.44
CDSIDAC-MERIAN GLOBAL INVESTORS SERIES PLC	563,500	1.02

(注) 1. 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

役員一覧 (2020年7月29日現在)

代表取締役社長 山崎 貴三代 常勤監査役*2 岩崎 榮治
取締役 宮崎 昌也 監査役*2 山田 勝利
取締役 戸田 正太 監査役*2 小嶋 一美
取締役*1 石田 和男
取締役*1 栗原 猛

*1 社外取締役 *2 社外監査役

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会 4月30日

期末配当金 4月30日

中間配当金 10月31日

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。